

# SENZOKU ストリングオーケストラ

2021年7月2日（金）18：00 開演（17：30 開場）

洗足学園音楽大学 前田ホール

## ～プログラム～

E.モリコーネ：The Ecstasy of Gold

Solo Violin：古澤 巖

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番 二短調 BWV.1004

指揮：古澤 巖

## — 休憩 —

R.D.マリーノ：ヴァイオリン協奏曲 第2番

Solo Violin：古澤 巖

M.ブルッフ（編曲 R.D.マリーノ）：スコティッシュ・ファンタジー

Solo Violin：古澤 巖

### △新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

## ■ 曲目解説

### E.モリコーネ：The Ecstasy of Gold

Ennio Morricone / The Ecstasy of Gold for solo violin and string quintet 2020

昨夏惜しくも亡くなった映画音楽の巨匠モリコーネに捧げる。オリジナルは「続・夕陽のガンマン」の中のサウンドトラックで、バンド「メタリカ」のライブオープニングにも使われている曲。12月に行われるベルリンフィル・メンバー×古澤の公演に先立ち、マリーノが弦楽5部+soloにアレンジしている。

(古澤 巖)

### J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番 二短調 BWV.1004

J.S.Bach ( arr.Johannes A.Bittenbinder ) / Ciaccona aus der Partita II für Violine solo BWV1004

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685-1750) は、バロック後期の作曲家で、後に音楽界に多くの影響をもたらした、西洋音楽史上重要な人物である。シャコンヌとは、『無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ (全6曲)』のパルティータ第2番の終曲である。彼はこの曲集において、本来メロディーを担う旋律楽器のヴァイオリンにメロディーだけでなく、和声進行や異なる声部の進行を伴う多声部的書法を用いて、技術的・芸術的に素晴らしい多くの作品を残した。それにより同作品集は、無伴奏ヴァイオリンのために書かれた音楽の最高峰に位置し、今日、クラシック音楽作品の中では最も演奏機会に恵まれている曲の一つとなっている。形式的にはバリエーションにあたる。バリエーションとは、あるテーマを元に変奏や新しい要素を足していきながら曲を発展させていく作曲技法である。今回は弦楽五部の編曲作品を演奏するが、その中に紡がれるバッハの音楽を味わっていただきたい。

(学部4年 Va. 山下 智史)

### R.D.マリーノ：ヴァイオリン協奏曲 第2番

Roberto Di Marino / Violin Concerto No.2 for violin and string quintet 2015

このヴァイオリンコンチェルト第2番は、実は最初はバンドネオンの為に書いた作品であった。バンドネオンとアルゼンチンタンゴの間には、不変的な深い繋がりがある。その繋がり、音楽的にも、演奏スタイルや文化の違いなどをより表現しやすい“ヴァイオリン”と言う楽器を使う事で、より正確に表されている。バンドネオンがアルゼンチンとの繋がりを確立していたとしたら、この「3楽章形式」と言うものは、後世の作曲家達のモデルとなったアントニオ・ヴィヴァルディのソロコンチェルトとの繋がりを表していると言える(3楽章形式でソロコンチェルトを書き始めたのはヴィヴァルディであるから)。さらに、幾つかのパッセージからは、フランス音楽との類似性が見られ(2楽章)、エンニオ・モリコーネ風な音楽やアフリカのポリリズムなども見て取れる(3楽章)。

昔私が愛したものが絶え間なく蘇って来る、、、。

R.D.マリーノ (訳：指導教員 中 一乃)

### M.ブルッフ (編曲 R.D.マリーノ)：スコティッシュ・ファンタジー

Max Bruch ( arr. Roberto Di Marino ) / Scottish Fantasy for violin and string orchestra

この作品はブルッフ (1838-1920) がパブロ・デ・サラサーテ (1844-1908) に献呈するために作曲した、本来オーケストラとヴァイオリン独奏による作品である。様々な国からの圧政の中独自の文化を守り抜いてきたスコットランドの民謡をモチーフにした作品であるが、ブルッフはこの作品に取り掛かる際はスコットランドに訪れたことはなく「スコットランド音楽博物館」と言う現地の名のある詩人と音楽学者が編集・出版した曲集に出会ったことでスコットランド民謡に触れた。哀愁に溢れたヴァイオリン独奏で序章 (Grave) が始まり、そのまま第一楽章 (Adagio Cantabile) へと進む。恋人の帰りを待つ心情を謳ったロマンティックな第一楽章とは変わり、第二楽章 (Allegro:Dance) は小麦の粉挽きの踊りを表したリズムカルな楽章である。続く第三楽章 (Andante sostenuto) では神への祈りを親しみやすい旋律で歌い、最終楽章 (Allegro guerriero) でスコットランドの伝統的な戦いの歌で愛国心を強く主張する。全楽章を通しスコットランドの鮮やかな情景を表した名曲である。

(学部3年 Vn. 早川 萌音)



## ■プロフィール

### 古澤 巖

日本音楽コンクール第一位。桐朋学園、カーチス音楽院、モーツァルテウム音楽院等でミルシテイン、ヴェーグ、ギトリス、バーンスタイン、チェリビダッケ等に学ぶ。

1986年葉加瀬太郎と新しいステージ創りを始め現在に至る。自身のCDの他にグラッペリ、アサド兄弟、高橋悠治とのアルバムを制作。

イタリアの作曲家ロベルト・ディ・マリーノは、古澤とベルリンフィル・メンバーとの「12月ツアー」の中で必ず毎年何曲もの新曲を産み出している。そしてカルテット曲は「品川カルテット」の為に書かれている。宗次コレクションの最高額ストラディバリウス「サン・ロレンツォ」を担当。

4月より毎週(水)テレビ東京の競技ダンス番組「Dの旋律」司会及びラテン演奏を担当。秋の6人組バンド「six unlimited」ツアーは2年目。過去に乗馬、居合道、合気道を20年程訓練し、現在はMr.ル・マン寺田陽次郎率いるテラモスレーシングチームに所属、マツダパーティーレースは5年目を迎える。

モリコーネ追悼最新アルバムは5月リリース「The Ecstasy of Gold」(HATS)。洗足学園音楽大学客員教授。趣味はサーフィン。

